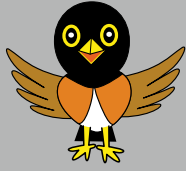


こっこめ通信 01 2017

「今年俺が主役だ! byこっこめ君」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

あけましておめでとうございます。2017年も八丈ビジターセンター・八丈植物公園で楽しんでいただけるよう職員一同頑張りたいと思います。酉年の始まる前、2016年12月に八丈小島から「クロアシアホウドリの産卵」という嬉しいニュースが飛び込んできました。3シーズン連続の産卵、しかも今シーズンは8組が産卵しているようなので、今度こそヒナの顔が見られるかもしれません。楽しみな年の始まりとなりました!

さて、今回は「虫コブにできたシイの実」「師走恒例クラフト行事」「なぜ? どうして島に?」のお話です。

虫コブにできたシイの実

八丈島で自生しているドングリのなる木はスダジイの1種だけです(他にマテバシイとウバメガシが植栽されています)。スダジイの花(写真①)は4月上旬から咲き始め、実は1年以上かけ翌年の秋に成熟します。八丈島ではここ数年、スダジイタマバエがスダジイの花序に卵を産み、その花序がスダジイハナエダフクレフシという虫コブ(写真②)になっています。この虫コブになると実はできません。虫コブは冬にかけて大きくなり、12月上旬頃になるとスダジイタマバエの赤い幼虫(写真③)が虫コブから脱出します。枝に残った空き家の虫コブは春先までにはすべて落ちてしまいます。

2016年も植物公園のスダジイにはたくさんの虫コブができてしまいました。その中にちょっと不思議な虫コブ(写真④・⑤)ができていた木を発見しました。どこが不思議だか分かりますか?

何と! 春に新しくできた虫コブにシイの実がついていたのです。卵が産み付けられていない雌花に実ができる可能性はあるはずですが、翌年成熟するはずの実が半年で成熟しているのです。実の大きさは小さいものから通常の大きさのものまでありました。ついていた実の状態を調べるためにいくつか割ってみたところ、中身(子葉)が空洞の実(写真⑥)としっかりと詰まった実(写真⑥白枠内)がありました。しっかりと詰まった実を食べてみましたが、いつもの味と変わりなく美味しかったです。

理由として考えられるのは、前年も虫コブができたことで秋に成熟した実が無く、しかも奇跡的に受粉して実ができ、実も少なかったことで実に栄養が行き届き大きくなったのかもしれませんが。それとも、毎年できる虫コブへの対策? もしかして、今年はたまたまできただけ?

この木だけに起きる現象なのか? 来年以降も観察を続けていきます。



「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

師走恒例クラフト行事

恒例になりつつある 12 月のクラフト行事。2016 年も開催しましたので、できあがったすばらしい作品を紹介します。

12 月 5 日に開催したのは「**いっしょに作ろう・クリスマスの妖精トントウ**」。いっしょに作ろうシリーズは年間を通して数回行っている、未就学のお子さんと保護者で簡単に作れるクラフト行事です。園内で伐採したアカメガシワの木を斜めに切ったものにフェルトで顔を貼り付け、お鼻にアオノクマタケランの赤い実を付けて妖精トントウの出来上がり！もうひとつは、ソテツの実の中身をくり抜いたものを用意し、この実をゴムにくくりつけて鈴にしたカランコロンという楽器です（写真右上）。未就学児の行事なので事前にすべての材料を用意し、貼り付けたり巻き付けるだけの簡単な作業にしています。



12 月 18 日に開催したのは「**リースを作ろう**」。島にある自然素材とワンポイントのリボンを使って作っています。土台になっているのはサルトリイバラ。島のサルトリイバラは棘が無いので危なくありません。その土台にカイヅカイブキの葉を巻き付け、選んだ素材をグルーガンで貼り付けています。赤い実は土台にしたサルトリイバラの実、他にはフヨウやルリゴクラクチョウカ（オーガスタ）、クロマツ、オオバヤシャブシなども使っています。同じ材料なのに出来上がりはそれぞれ違って、みんなステキでした！すべて紹介できないので一部の作品を紹介します（写真下）。



12 月 23 日に開催したのは「**小さなツリーを作ろう**」。リース作りで余った材料を使ってマツボックリツリーを作りました。70 個用意していましたが、島内で感染性胃腸炎などが蔓延している影響もあったのか 29 名と少なめの参加となりました。今回は、ハマボスの種殻を取った枝も素材として用意しました。リースでは使わなかったルリゴクラクチョウカの種子はオレンジの綿毛が付いていて使う方が多かったです。



トントウ、リース、小さなツリーなどの作品はクリスマスに飾ってくれたかな？ **今年の 12 月も開催予定です！**

なぜ？どうして島に？

2016 年 11 月 25 日、三根富士見地区で、「畑を耕しているとカエルが出てきた！」とビジターセンターに持ってきてくれた方がいました。持ち込まれたのは「トノサマガエル」でした。島でトノサマガエルが見つかったのは初めてです。見つかった畑の周りには水場はなく、どうしてこの場所で見つかったのか？ どうやって島に入ってきたのか？ まったく分かりませんが、人が持ち込んだものに違いありません。島にいない生きものを野に放つのは絶対にしないでください！



→編集後記に続く

八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きもので季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。平成28年最後の調査会は12月11日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成28年第12回）調査者・沖山三、沖山美、青木、矢野、VC菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			草本			シダ植物		
1	アオツツラフジ	実	31	ヘクソカズラ	実	1	アラゲヒメワラビ	
2	アオノクマタケラン	熟した実	32	ベニバナボロギク	花と実	2	イシカグマ	
3	アキノノゲシ	実	33	ムラサキカタバミ	花	3	ウチワゴケ	
4	アシタバ	実	34	メヒシバ	実	4	オオイタチシダ	
5	アシボソ	実	35	メリケンカルカヤ	実	5	オオタニワタリ	
6	イガガヤツリ	実	36	ヤクシソウ	花	6	オニヤブソテツ	
7	イソギク	花	37	ヤブマオ	実	7	カニクサ	
8	イヌホオズキ	実				8	コハシゴシダ	
9	イワニガナ	花	木本			9	シチトウハナワラビ	栄養葉のみ
10	ウスベニニガナ	花と実	1	アオキ	実	10	タチシノブ	
11	オニタビラコ	花と実	2	イヌビワ	実	11	タマシダ	
12	カタバミ	実	3	オオバヤシャブシ	実	12	ナチシケシダ	
13	カラムシ	実	4	オオムラサキシキブ	実	13	ノキシノブ	
14	カリマタガヤ	実	5	ガクアジサイ	実	14	ハチジョウカナワラビ	
15	コセンダングサ	実	6	カラスザンショウ	実	15	ハチジョウシダ	
16	コニシキソウ	花と実	7	シマクサギ	実	16	ヒトツバ	
17	ススキ sp.	実	8	スイカズラ	実	17	ホシダ	
18	セイトカアワダチソウ	実	9	スダジイ	虫こぶ割れる	18	ホラシノブ	
19	セイヨウタンポポ	花	10	ツルグミ	花	19	マツザカシダ	
20	センニンソウ	実	11	テイカカズラ	実が割れる	20	マツバラソ	
21	タケダグサ	花と実	12	テリハノイバラ	実	21	マメヅタ	
22	タネツケバナ	花と実	13	トベラ	実が割れる	今回はシダ植物21種を含む79種の植物を観察しました。植物公園もそろそろ冬枯れの季節となり、観察できる花や実は少なくなってきました。また陸貝のアズキガイが多く寿命を迎え、道ばたに死殻がたくさん見られました。		
23	ツルソバ	花と実	14	ハゼノキ	実と紅葉			
24	ツワブキ	花、盛り	15	ヒサカキ	蕾			
25	ノコンギク	花と実	16	ヒメユズリハ	実が残る			
26	ノジスミレ sp.	花	17	ホルトノキ	実			
27	ノシラン	実	18	マサキ	実			
28	ヒナギキョウ	花と実	19	マンリョウ	実			
29	ヒメクグ	実	20	モチノキ	実と蕾			
30	フウトウカズラ	実	21	ヤツデ	花			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でも見られる園芸種「ルリゴクラクチョウカ」にスポットを当ててみたいと思います。



ルリゴクラクチョウカ *Strelitzia reginae*

バショウ科ゴクラクチョウ属。南アフリカ原産
 高さは5m以上にもなり、葉の長さも1m近くになります。
 花はストレチアのような形ですが大きく、萼は白く、花弁は青色です。園芸種オーガスタとして栽培・出荷しています。島では路地でも越冬し、花も咲き、種（写真左矢印）もできます。

2017 八丈ビジターセンター 1 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
1 ガイドウォーク	2 ガイドウォーク	3 ガイドウォーク	4	小寒 5	6	7 ガイドウォーク
年末年始特別行事「体験八丈太鼓」						
07:30 00:32 18:20 12:52	08:04 01:06 18:57 13:30	08:40 01:43 19:41 14:15	09:19 02:22 20:35 15:10	10:02 03:06 21:50 16:19	10:52 03:59 23:42 17:41	05:09 11:52 19:01
8 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	9 ガイドウォーク	10	11	12	13	14 ガイドウォーク
01:47 06:42 12:57 20:08	03:16 08:14 13:58 21:04	04:18 09:26 14:52 21:53	05:06 10:20 15:42 22:38	05:48 11:05 16:28 23:20	06:26 11:45 17:11 23:59	07:01 12:23 17:52
15 ガイドウォーク	16	17	18	19	大寒 20	21 ガイドウォーク
07:33 00:36 18:32 13:00	08:02 01:11 19:11 13:38	08:30 01:44 19:52 14:18	08:57 02:15 20:37 15:04	09:27 02:47 21:38 16:02	10:04 03:22 23:23 17:19	04:07 10:54 18:48
22 ガイドウォーク	23	24	25	26	27	28 ガイドウォーク 八丈学講座 「大里地区歴史散歩」
01:53 05:31 12:04 20:00	03:22 07:31 13:20 20:51	04:08 08:55 14:20 21:32	04:42 09:47 15:07 22:08	05:12 10:26 15:48 22:41	05:41 10:59 16:25 23:14	06:09 11:31 17:02 23:47
29 ガイドウォーク	30	31	この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります		潮汐時間は 「日本水路協会 潮汐表」 の時間です。	
06:38 12:04 17:40	07:08 00:20 18:19 12:39	07:38 00:54 19:00 13:16				

イベントプログラム

年末年始特別行事
「体験八丈太鼓」

ビジターセンターの年始といえばこれ！ て〜こ、はたきにおじゃれ！
1/1〜3 (13:30〜16:45) いつでも・だれでも・無料

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
1/8 (13:30〜 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：15名

八丈学講座
「大里地区歴史散歩」

毎月行っている八丈学講座。今月は、優婆夷宝明神社や甘藷由来碑などを見ながら散歩します。
1/28 (13:30〜 約1時間半)
中学生以上 大里地区陣屋跡集合・解散 参加費：50円 定員：15名

ビデオプログラム

10:00〜 八丈・海・生きものたち
11:00〜 おじゃりやれ 八丈島
14:00〜 おじゃりやれ 八丈島
15:00〜 おじゃりやれ 八丈島
16:00〜 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2017.1.1 第188号

開館時間 9:00〜16:45 年中無休 (入場無料)
〒100-1401
東京都八丈島八丈町大賀郷2843
電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888
E-mail：info@hachijo-vc.com
http://www.hachijo-vc.com

編集後記

島で捕まえた生きものを逃がす時は、いた場所に逃がす。本来、生きものが移動しないであろう距離を動かすこともやめましょう。買って来た園芸植物が広がる事も避けなければいけません。島外から連れてきた生きものを飼う場合は最後まで面倒を見ましょうね。(高)